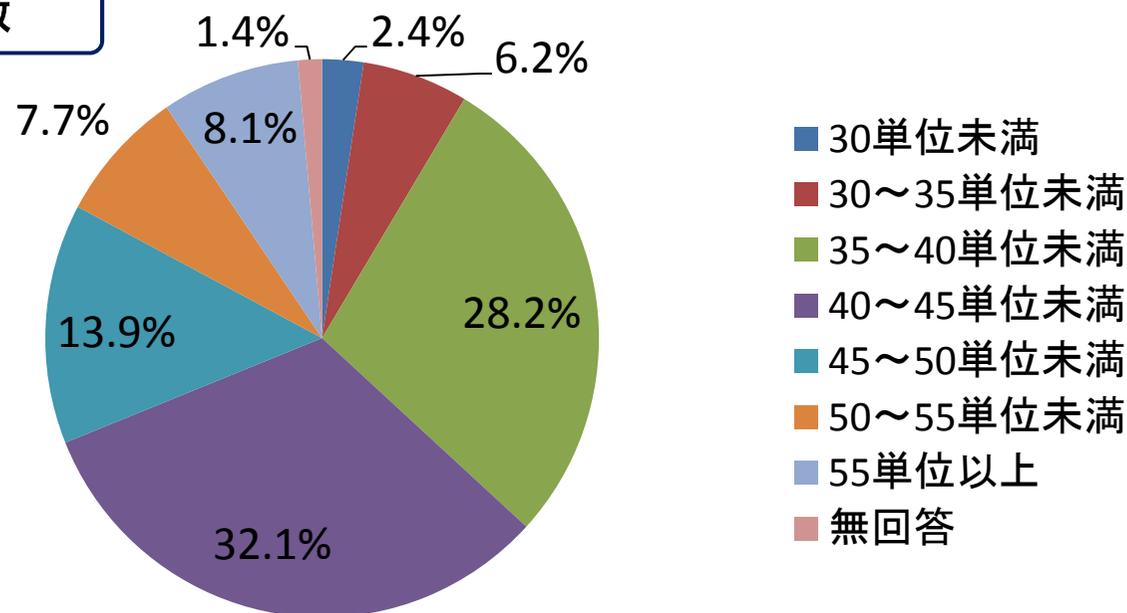


## 4-3 授業について

## 4-3-1 教育課程の特色

必履修科目の単位数



代表的な必履修科目(国語・数学・外国語)

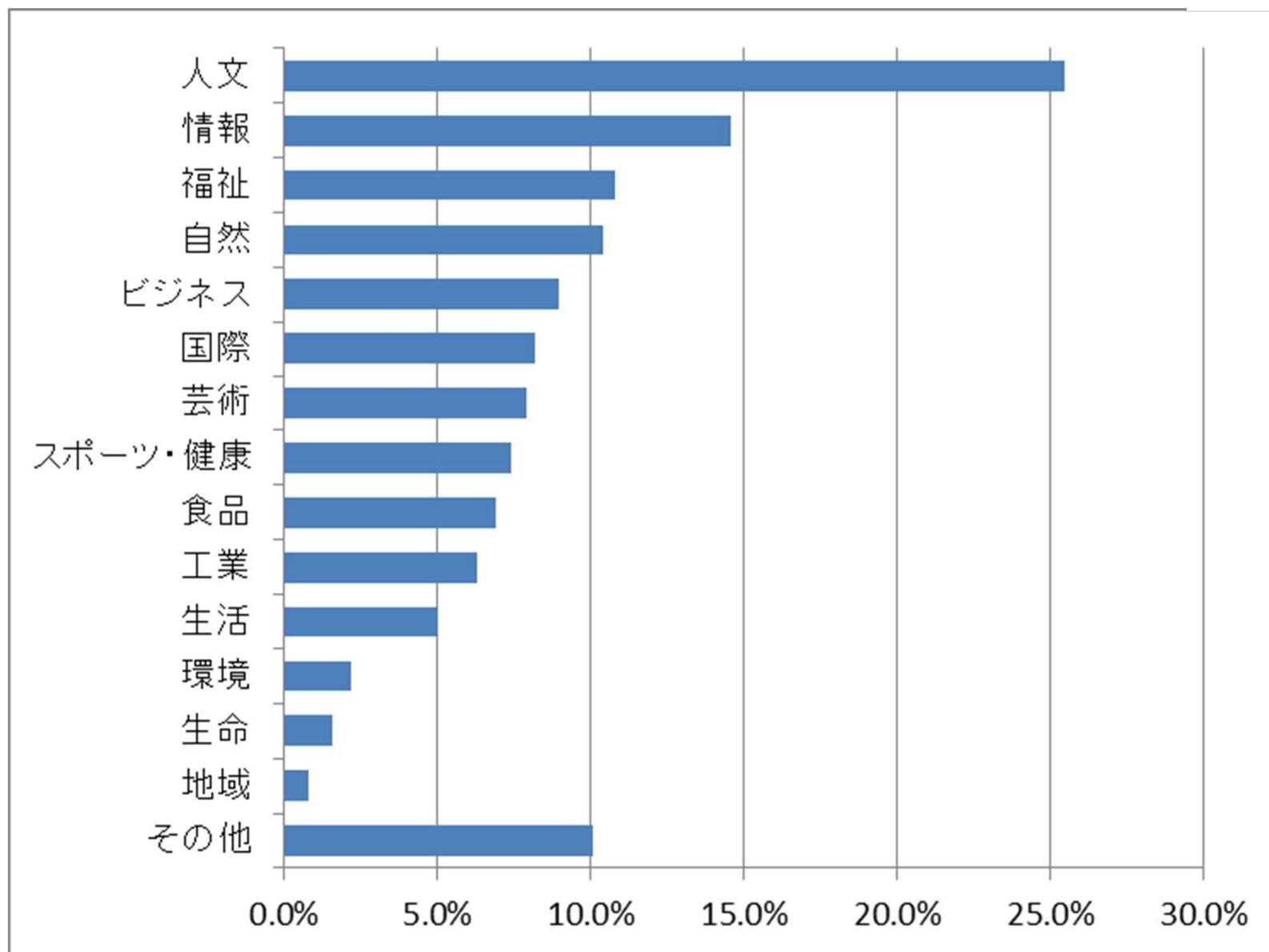
教科名	科目名	学校数	割合	科目名	学校数	割合
国語	現代文	31校	14.8%	国語表現	2校	1.0%
数学	数学A	21校	10.0%	数学Ⅱ	3校	1.4%
外国語	オーラル・コミュニケーションⅠ	10校	4.8%	英語Ⅱ	22校	10.5%

出典：平成23年度文部科学省委託事業「高等学校教育改革の推進に関する調査研究事業」

総合学科の在り方に関する調査研究 第4章 総合学科の校長への質問紙調査による総合学科の現状と課題

## 4-3-2 主に選択している科目(系列)分野

n=9025

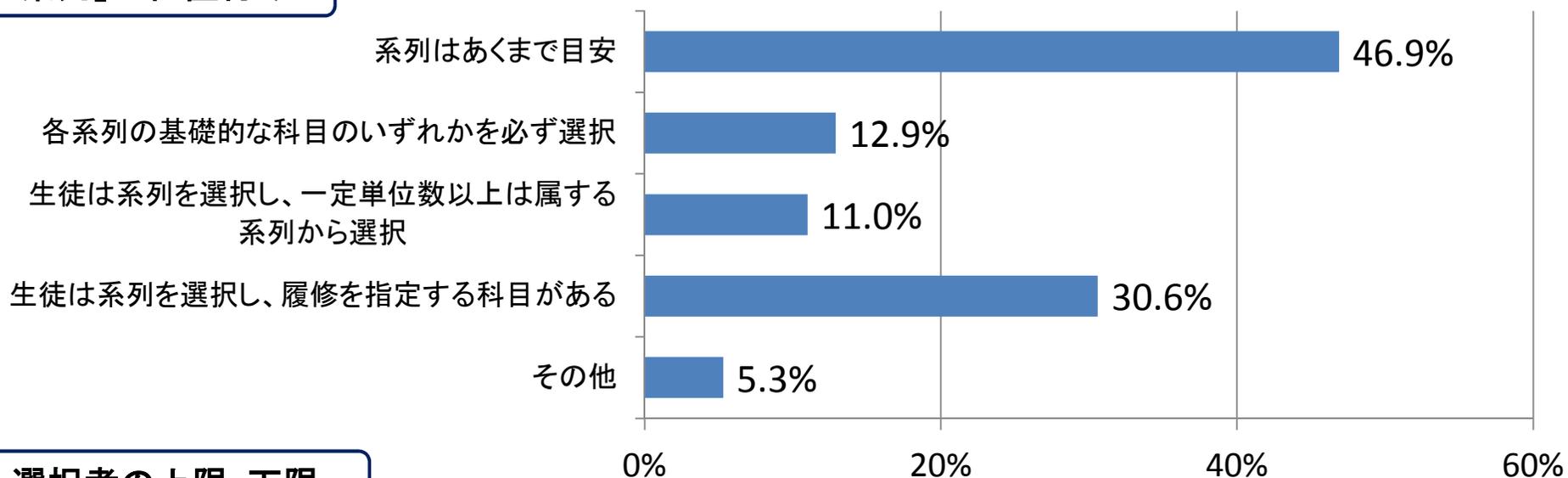


出典：平成19年度国立教育政策研究所「今後の後期中等教育の在り方に関する調査研究「総合学科に関する調査」報告書」

### 4-3-3 系列の位置付けと科目選択

※「系列」・・・総合学科選択科目群（生徒にある程度のまとまりのある学習を可能にするとともに、生徒自身の進路の方向に沿った科目履修ができるようにするため、体系的や専門性等において相互に関連する普通科目及び専門科目をまとめた科目群。生徒が科目選択を行っていく際の履修上の指針。

#### 「系列」の位置付け



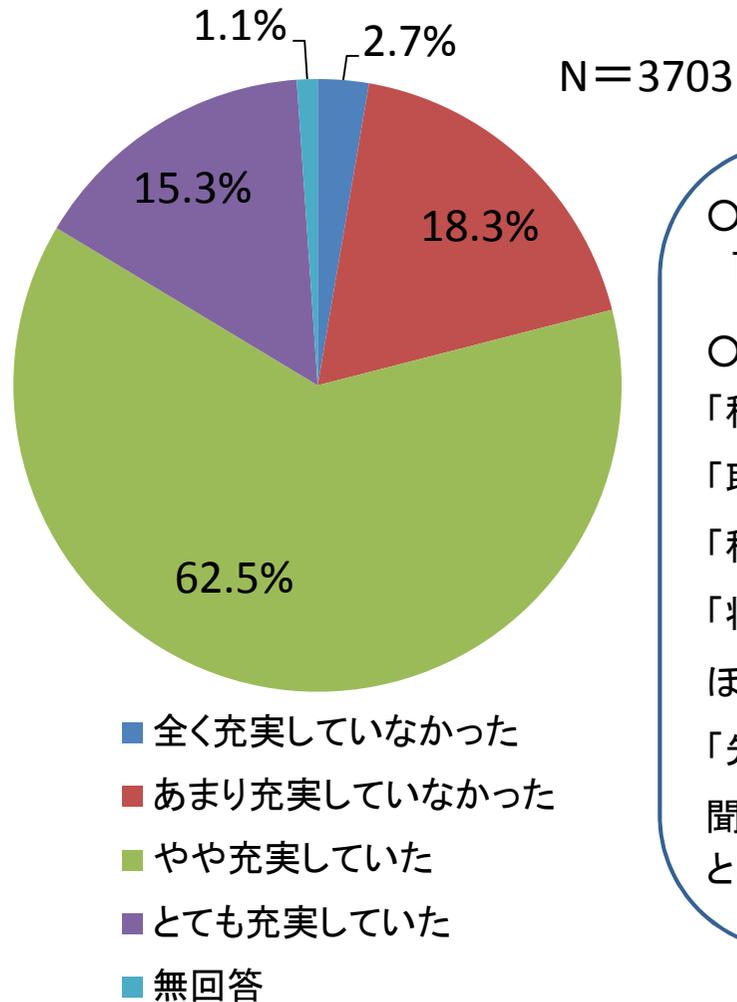
#### 選択者の上限・下限

	定めている		平均人数	定めていない	
	校数	割合		校数	割合
上限	105校	50.2%	34.7人	94校	45.0%
下限	152校	72.7%	7.3人	55校	26.3%

出典：平成23年度文部科学省委託事業「高等学校教育改革の推進に関する調査研究事業」  
総合学科の在り方に関する調査研究 第4章 総合学科の校長への質問紙調査による総合学科の現状と課題

## 4-3-4 ガイダンス機能の充実度

科目を選択する時に科目選択のためのガイダンスがどの程度充実していたか



○ 「とても充実していた」「やや充実していた」を合わせると、肯定的回答が77.8%。

○ 一方で、自由記述において

「科目選択の仕方がわかりにくい」「科目選択が急すぎる」

「取りたい科目が抽選で取れなかった」

「科目選択で思ったより取りたい科目が取れない」

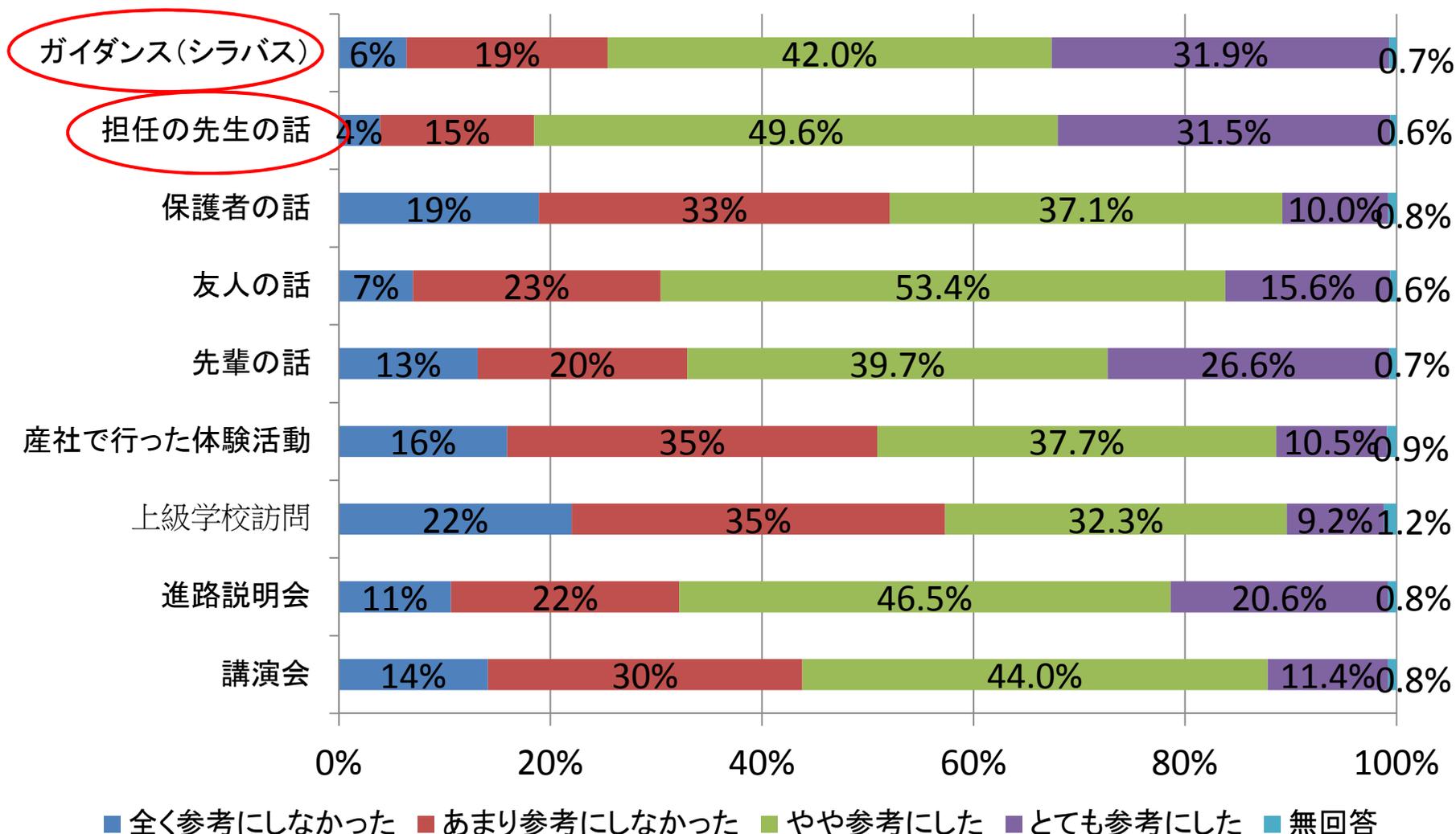
「将来の夢が変わったら、時間割変更をすんなりできるようにしてほしい」

「先生が理解してなさすぎ。学年の先生たちももっと担当の先生に聞きに行ったりした方がいいと思う」といった問題点について回答がなされている。

出典：平成23年度文部科学省委託事業「高等学校教育改革の推進に関する調査研究事業」  
総合学科の在り方に関する調査研究 第2章 総合学科に在籍する生徒の意識調査

## 4-3-5 科目選択の際に参考にしたもの

N=3703

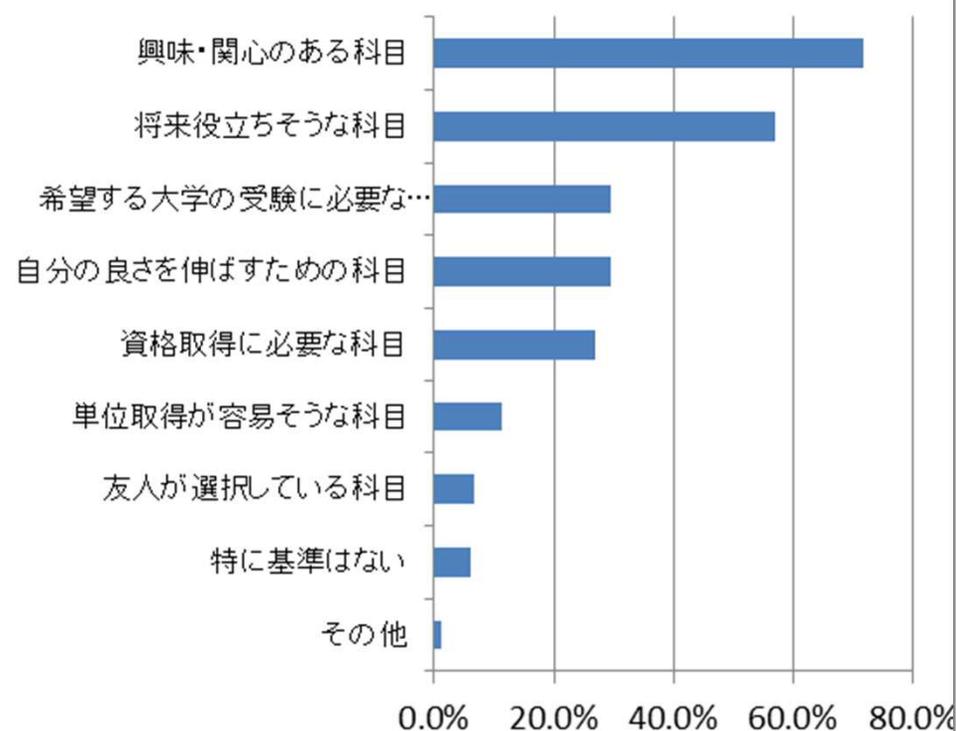


出典：平成23年度文部科学省委託事業「高等学校教育改革の推進に関する調査研究事業」  
総合学科の在り方に関する調査研究 第2章 総合学科に在籍する生徒の意識調査

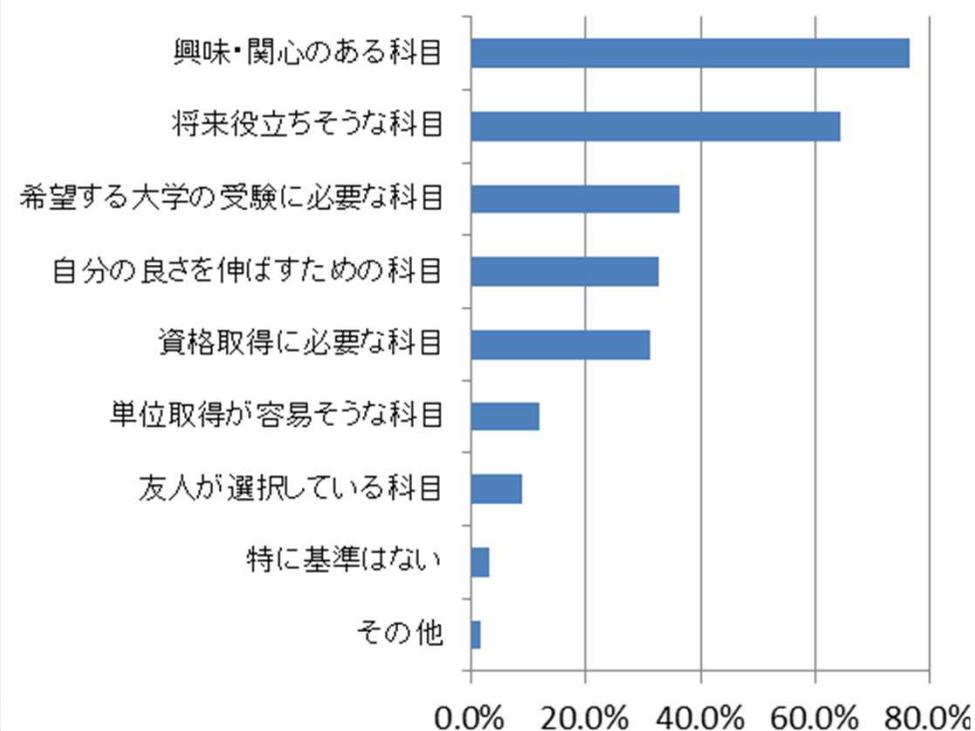
## 4-3-6 自分の選択する科目を決める基準

- 選択する科目を決める基準については、平成19年調査と平成11年調査では、大きな違いは見られない。

【平成19年調査】

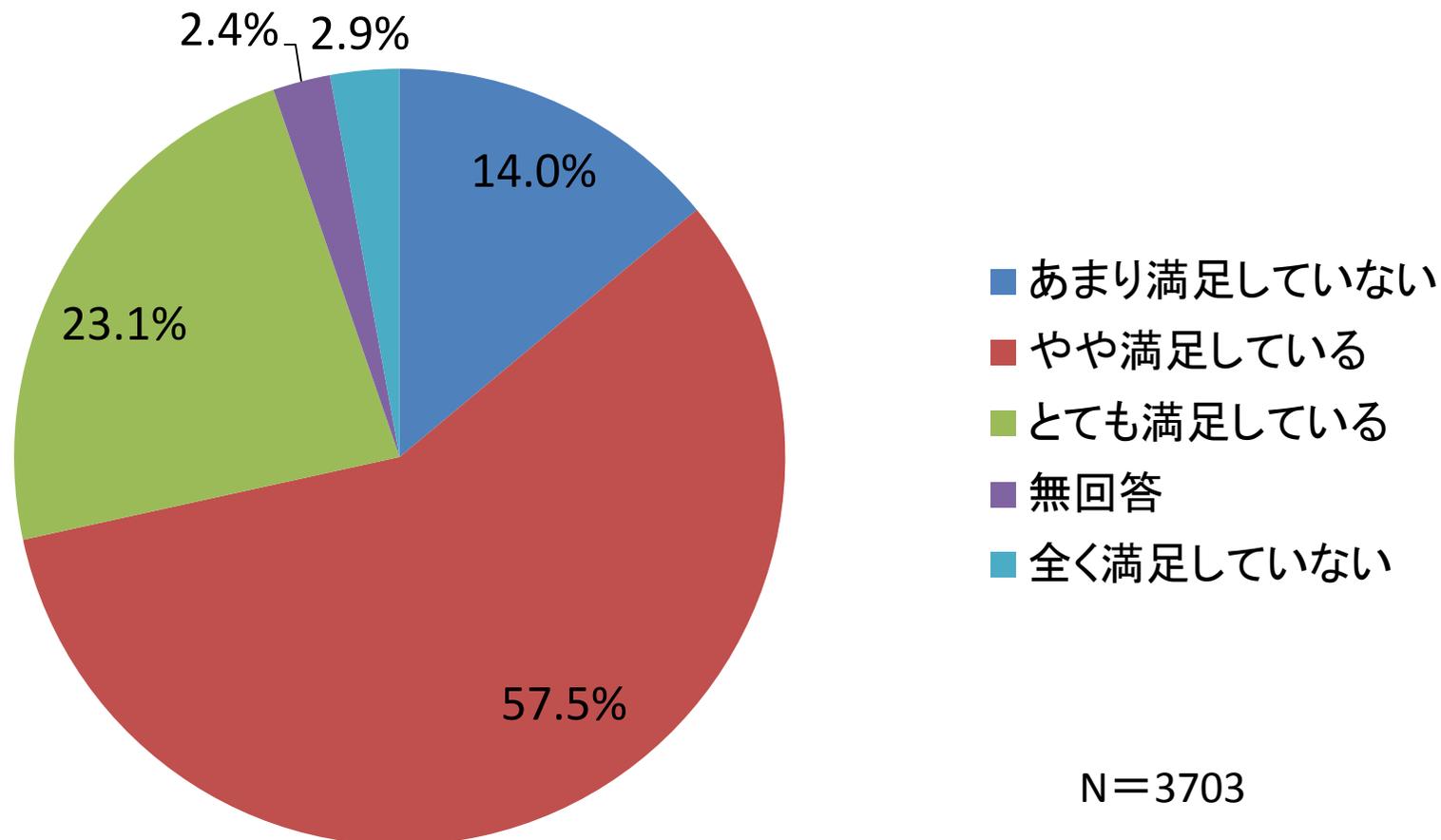


【平成11年調査(公立全日制学校)】



## 4-3-7 科目選択の満足度

○ 科目選択に対しては、8割以上の生徒が満足している。

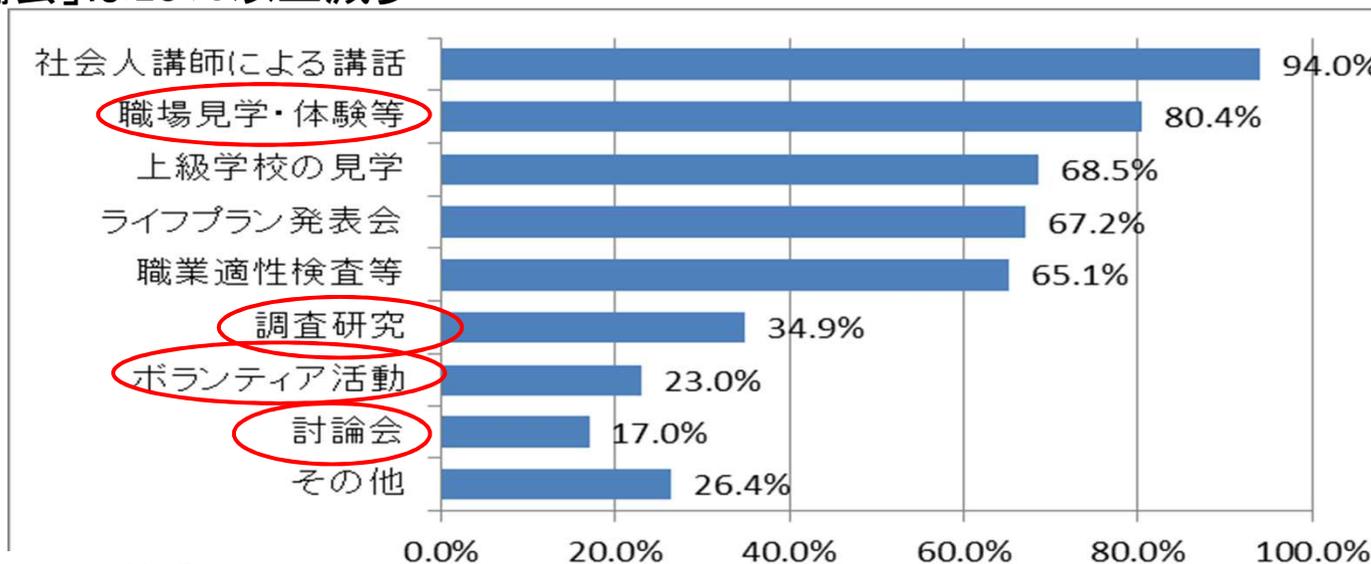


出典：平成23年度文部科学省委託事業「高等学校教育改革の推進に関する調査研究事業」  
総合学科の在り方に関する調査研究 第2章 総合学科に在籍する生徒の意識調査

## 4-3-8 「産業社会と人間」の年間指導計画における活動

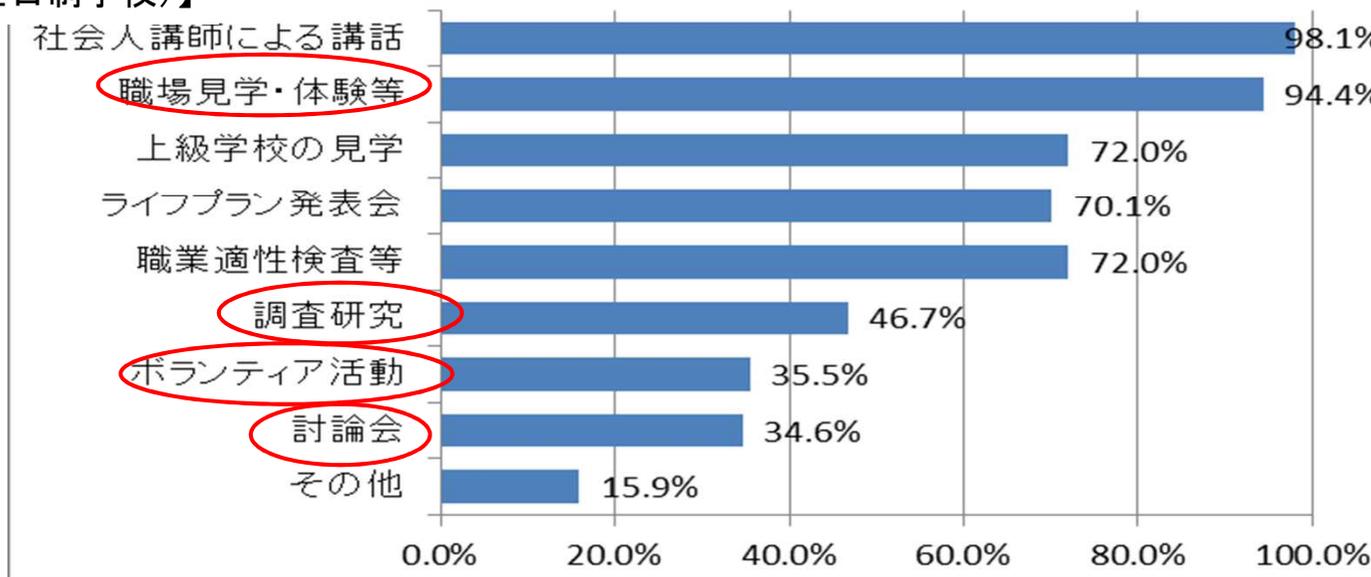
- 「その他」以外の全ての項目の割合が減少。特に「職場見学・体験等」「調査研究」「ボランティア活動」「討論会」は10%以上減少

【平成19年調査】



n=235

【平成11年調査(公立全日制学校)】

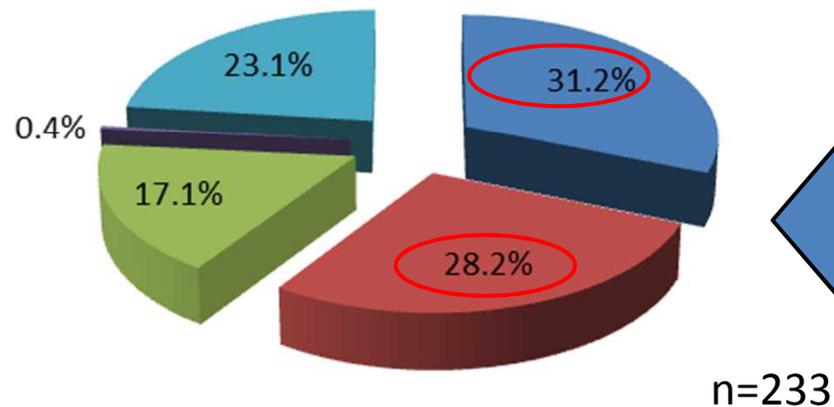


n=107

## 4-3-9 「産業社会と人間」の指導体制①

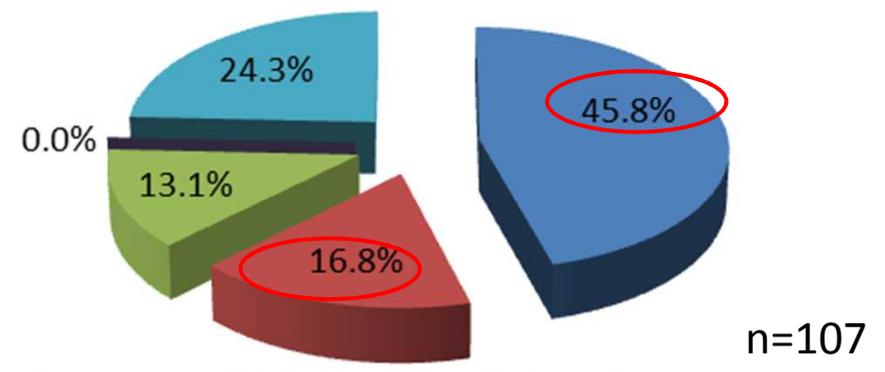
○ 産業社会と人間の指導体制については「ホームルーム担任のみ」が10%以上増加したのに対し、「ホームルーム担任と他の1名の教員によるチーム・ティーチング」は15%以上減少。

【平成19年調査】



- ホームルーム担任と他の1名の教員によるチーム・ティーチング
- ホームルーム担任のみ(副担任を含む)
- 「産業社会と人間」担当教員を別に決めている
- 進路指導担当教員
- その他

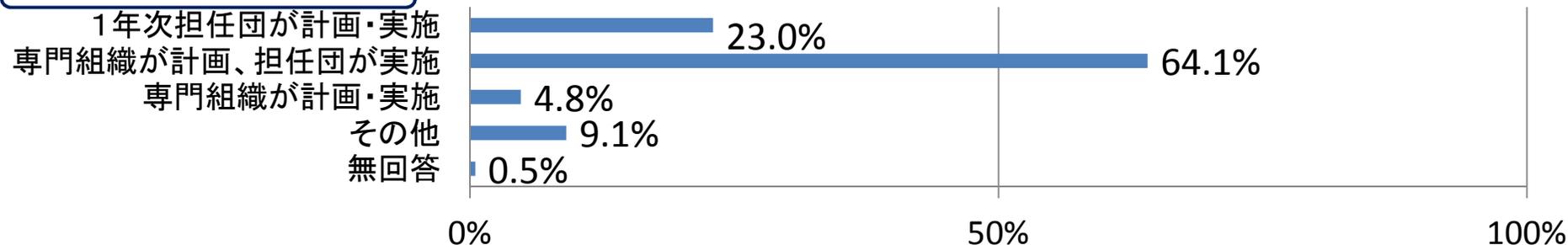
【平成11年調査(公立全日制学校)】



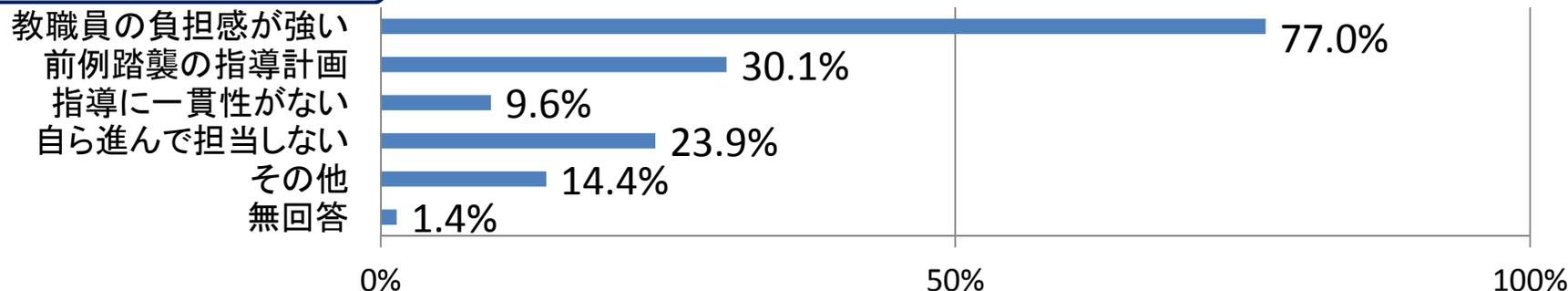
- ホームルーム担任と他の1名の教員によるチーム・ティーチング
- ホームルーム担任のみ(副担任を含む)
- 「産業社会と人間」担当教員を別に決めている
- 進路指導担当教員
- その他

## 4-3-9 「産業社会と人間」の指導体制②

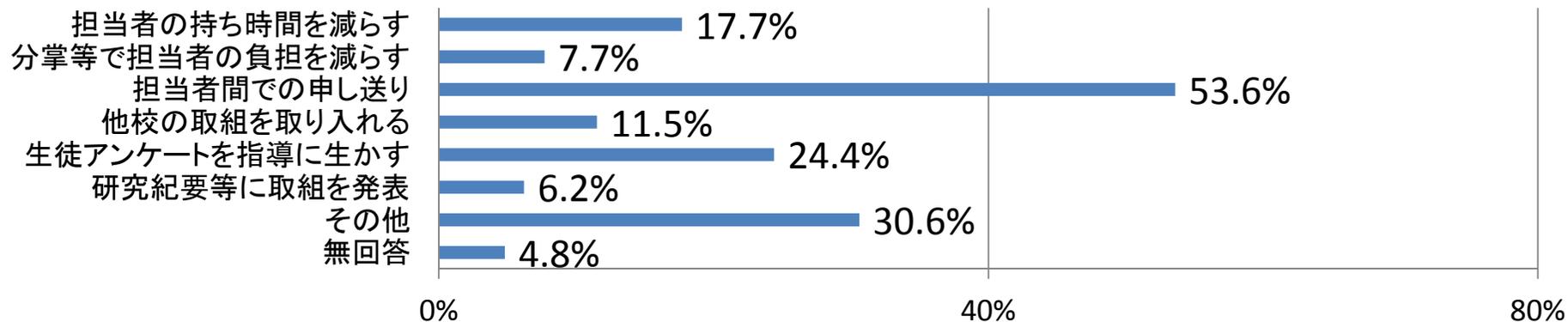
### 「産業社会と人間」指導体制



### 「産業社会と人間」運営の課題



### 「産業社会と人間」運営の改善点



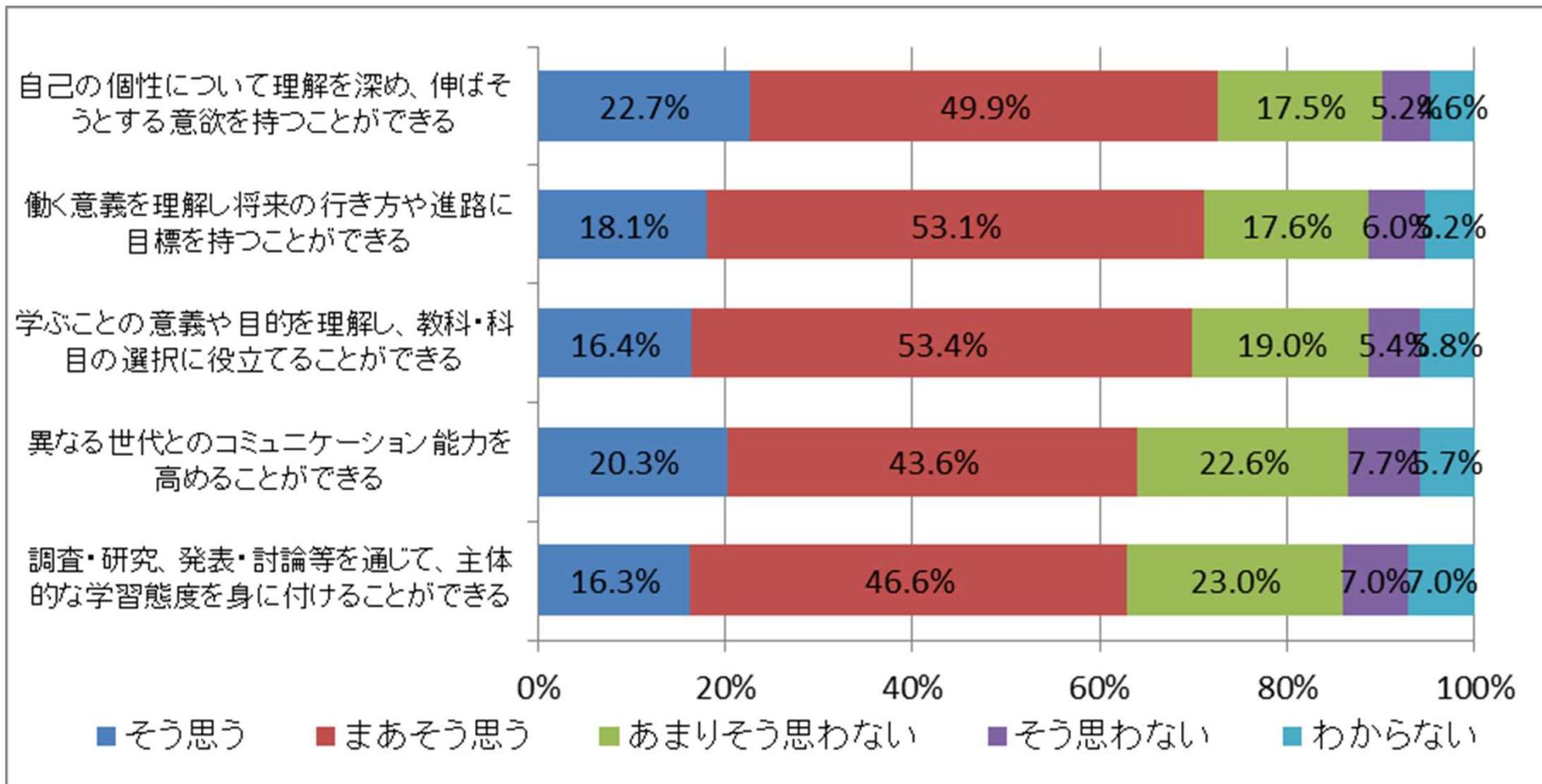
出典：平成23年度文部科学省委託事業「高等学校教育改革の推進に関する調査研究事業」

総合学科の在り方に関する調査研究 第4章 総合学科の校長への質問紙調査による総合学科の現状と課題

## 4-3-10 「産業社会と人間」を学ぶ意義①

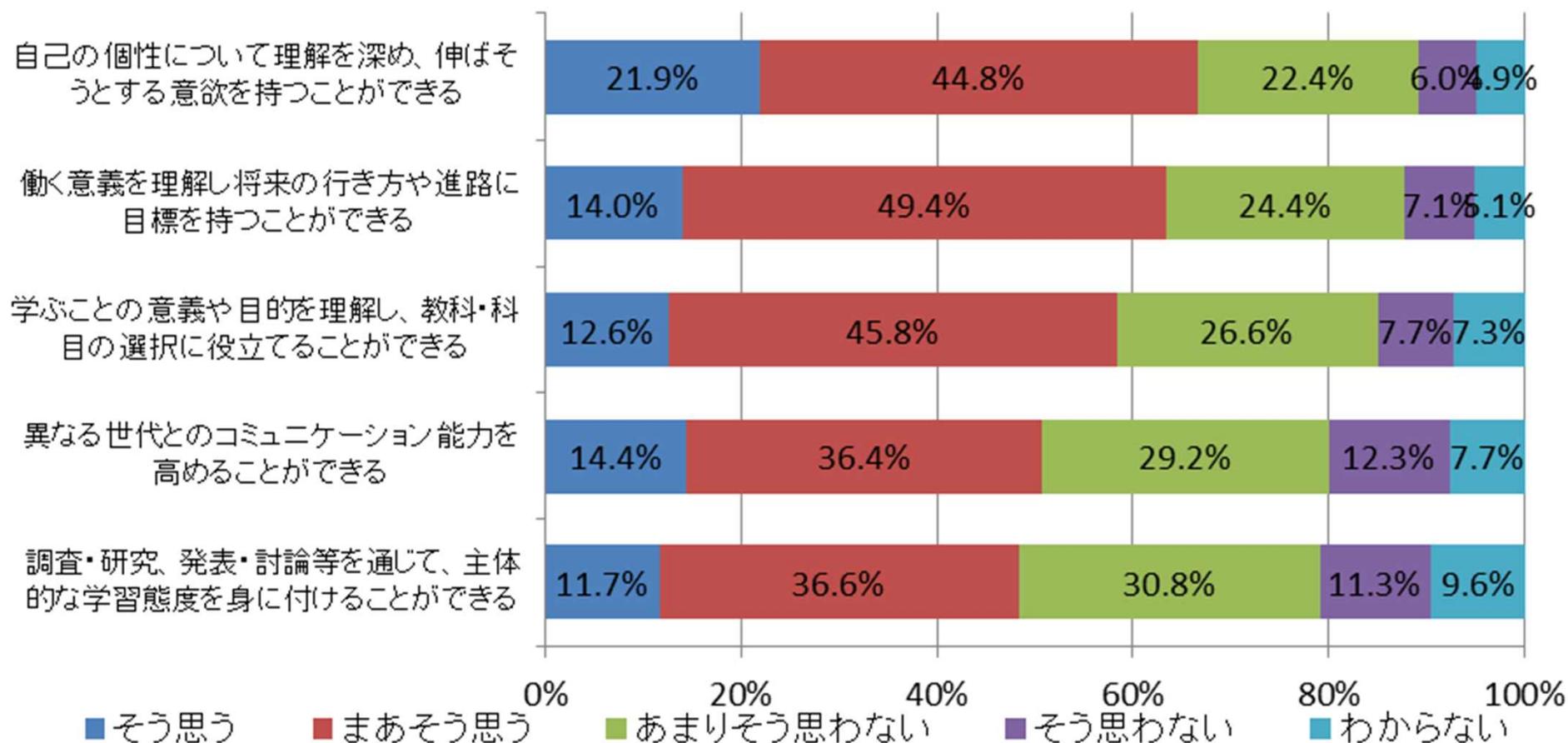
○ 産業社会と人間を学ぶ意義は全ての項目において肯定的な回答が7割前後。また平成11年調査と比べても全ての項目で肯定的回答の割合が高くなっている。

【平成19年調査】



## 4-3-10 「産業社会と人間」を学ぶ意義②

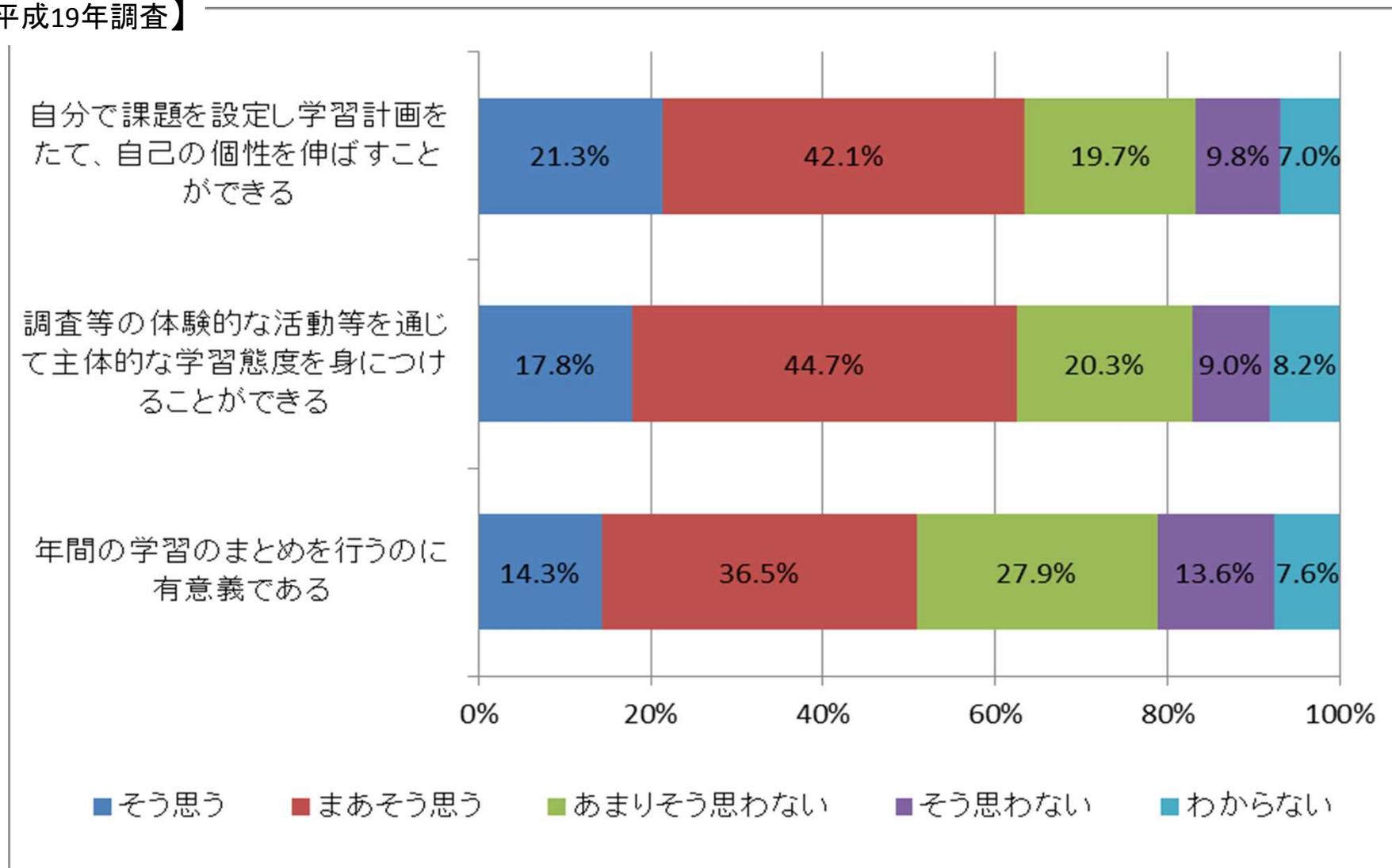
【平成11年調査  
(公立全日制学校)】



## 4-3-11 「課題研究」を行う意義①

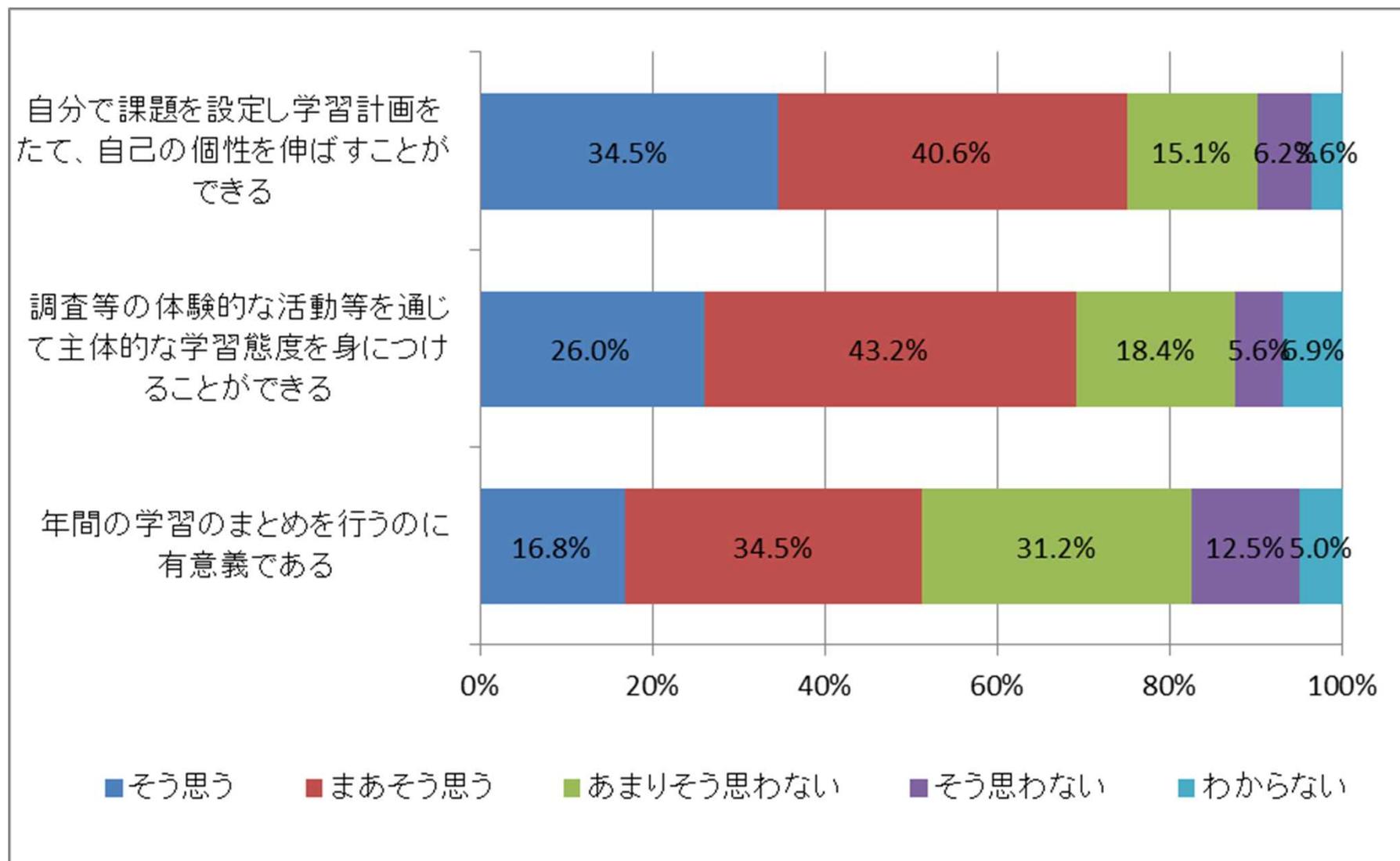
- 課題研究を行う意義は全ての項目において肯定的な回答が5割以上。しかしながら、平成11年調査の方が2つの項目について肯定的回答の割合が高い。

【平成19年調査】



## 4-3-11 「課題研究」を行う意義②

【平成11年調査(公立全日制学校)】

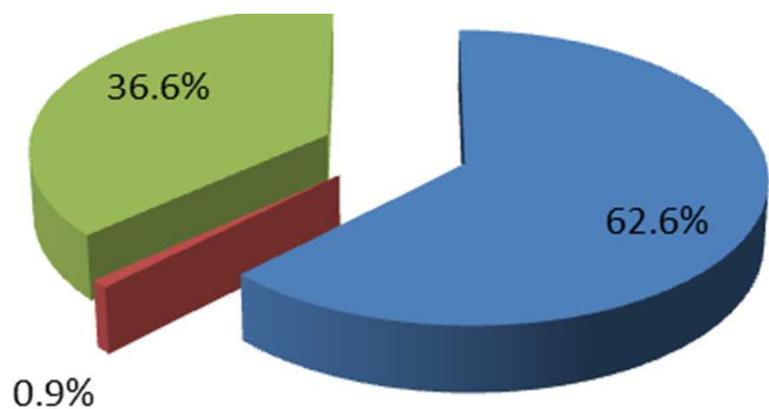


出典：平成19年度国立教育政策研究所「今後の後期中等教育の在り方に関する調査研究「総合学科に関する調査」報告書」

## 4-3-12 総合学科における学校外での学修の単位認定

- 学校外の学修による単位認定を行っている学校は平成11年調査と比べて大幅に増えている。(増加率は2倍を超える。)

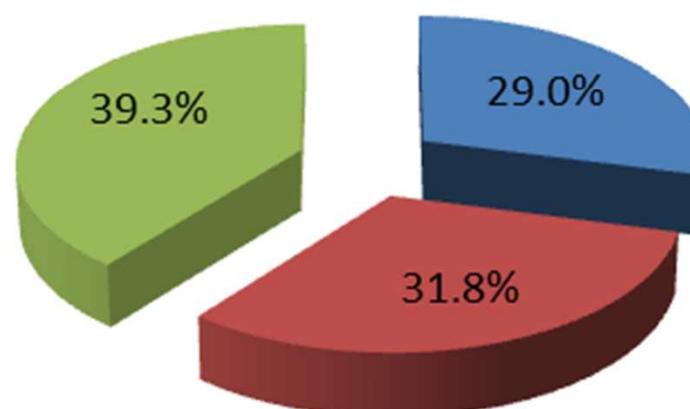
【平成19年調査】



■ 実施している  
■ 実施したことはない

■ 以前は実施していた

【平成11年調査(公立全日制学校)】



■ 実施している  
■ 実施予定なし  
■ 実施予定